

地域再生大賞

自然塾(甘楽)が優秀賞

地域活性化に挑む団体を支援しようと、上毛新聞など地方新聞45紙と共同通信社が設けた「第6回地域再生大賞」の各賞が23日決まった。大賞(副賞100万円)は岡山の「かさおか島づくり海社」。国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊の研修を受け入れ、国際交流や農村振興、定住・交流人口増に取り組み甘楽町の「NPO法人自然塾寺子屋」は優秀賞だった。

表彰式は2月19日、東京都内で開かれる。

11面に地域再生大賞特集

都道府県から原則1団体ずつ計50団体が推薦され、選考委員会(委員長・岡本義行法政大大学院教授)が審査した。かさおか島づくり海社は、介護や買い物支援で島の暮らしを支える。地域づくりのモデルになると評価された。

自然塾寺子屋は、青年海

外協力隊員が派遣前に技術補完するための研修事業をJICAから受託。途上国からの外国人農業研修生も引き受けている。「里山の魅力」を資源とし、住民や行政とともに都市住民や学生、外国人らを積極的に招いて交流。富岡甘楽地域の魅力をアピールし、地域活性化に取り組んでいる。

準大賞(副賞30万円)は「沼垂テラス商店街(テラスオフィス)」(新潟)と「岡崎まちゼミの会」(愛知)に決まった。